

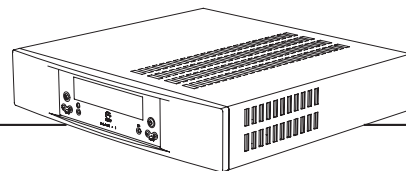


LINN

# MAJIK-I

プリメインアンプ

---



オーナーズマニュアル  
NIHONGO



# 安全に関する重要事項

製品に付されたマークについて：

危険な電圧が存在することを警告するものです。感電を引き起こす可能性があるの  
ので注意が必要です。



説明書やサービスマニュアルにおいて、操作、メンテナンス、サービス上の重要な事  
項を示すマークです。



## 本機を主電源に接続する場合

### 注意

- 感電の恐れがあるため、カバーを取らないでください。
- ユーザーが修理・調整すべき内部部品はありません。
- サービスは有資格の技術者に一任してください。
- 電源プラグのヒューズは、同タイプ、同定格のものと交換してください。
- ヒューズ交換は、電源コードを抜いてから行ってください。

### 警告

火災や感電事故を防止するため、本製品を雨にあてたり、湿気の多いところに置いたりしな  
いでください。

感電の危険あり。開けないでください。

## 電源コードとプラグ

販売する国により、製品には改造不可の電源プラグが付いています。交換用電源コードは  
販売店でお求めください。プラグ交換が必要な場合、注意して処分してください。導線が露  
出したプラグをコンセントにつなぐと危険です。

- 茶色のワイヤは Live ピンに接続します。
- 青いワイヤは Neutral ピンに接続します。
- 緑/黄色のワイヤは Earth ピンに接続します。

少しでも疑問があれば、販売店か技術者にご相談ください。

製品のフューズおよび消費電力については、各製品のリアパネルあるいは底面を  
ご参照下さい。



## 安全注意事項

1. 説明を読む:
2. 説明書を保管する:
3. 警告に従う:
4. 指示に従う:
5. 本機をバスタブ、洗面台、台所流し、洗濯槽などの近く、高湿度の地下室内、プールサイドなど、水のそばや湿気の多い場所では使用しないでください。
6. お手入れは、乾いたクロスで行ってください。
7. 換気口はふさがないでください。製造者の指示に従って設置してください。適切な換気ができる位置と向きに設置してください。例えば本機をヘッド、ソファ、ラグなどの上に置くことは、通風口を塞ぐ恐れがあるため、避けるべきです。造り付けの書棚やキャビネット内も通風口からの空気の流れを妨げることがあるため、不適当です。
8. ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ(アンプを含む)などの熱を発生する物のそばに設置しないでください。
9. 安全性を高める分極プラグ、アース付きプラグの目的を遵守してください。分極プラグには一方が他より広い2つのブレードが付いています。アース付きタイプのプラグには、2つのブレードのほかにアース用の突起があります。この3番目の突起は安全を守るためにあります。製品に付属するプラグがご使用のコンセントに合わない場合は、電気技術者に相談の上、旧型コンセントを取り替えてください。
10. 電源コードは、踏まれたり、他の物に引っかかたりしないように配置してください。特に、プラグ、電源コンセント、本体を出る個所に注意が必要です。
11. 製造者指定の付属品以外は使用しないでください。
12. スタンド、三脚、ブラケット、テーブルは、製造者指定の物、または本機と共に販売された物以外は使用しないでください。
13. 雷が鳴っているとき、また長期間使用しない場合は、本機器の電源プラグを抜いてください。
14. サービスは有資格の技術者に一任してください。電源コードやプラグの破損、製品内部に異物や液体が入ったとき、製品が雨や湿気にさらされたとき、正常に作動しないとき、あるいは製品を高いところから落としたときなどは、専門技術者による修理調整サービスが必要となります。
15. 壁や天井への取付: 壁や天井に取り付ける場合は、必ず製造者の指示に従ってください。
16. 電源: 必ず、操作説明書や製品本体に記載されたタイプの電源に接続してください。
17. 電源プラグ: 本体の主電源を切断するには電源プラグを抜いてください。電源プラグは常に手の届きやすい場所に設置します。本製品を使用していないときは、電源スイッチ(該当する場合)を使用してください。
18. 電線: 屋外アンテナは、電線から離して設置してください。
19. 屋外アンテナの接地: 本製品に屋外アンテナを接続する場合は、電圧サージと静電気蓄積から保護するために、アンテナをアースする必要があります。米国の場合、設置に関してはNational Electrical Code ANSI/NFPA 70の810項を参照してください。
20. 電話線: 本製品は、特に指示のない限り、電話線に接続しないでください。
21. 異物や液体の混入: 本機器内部に異物や液体を入れしないでください。水しぶきのかかる場所に置かないこと。液体の入った容器を本機器の上に載せないでください。液体の入った容器を本機器の上に載せないでください。
22. 火のついたろうそくなどの裸火が本製品に触れないようにしてください。
23. 本製品は温和な気候や熱帯気候で使用できるよう設計されています。

## CE遵守宣言

リン・プロダクツ・リミテッドは、本製品が低電圧に関する指令73/23/EECおよび電磁互換性に関する指令89/336/EEC (92/31/EEC および 93/68/EECにより修正)に準拠することを明言いたします。

当該製品が73/23/EEC (LVD)指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

規準番号	制定年	試験形式
EN60065	2002	一般要件 マーキング 危険性のある放射物 通常条件における発熱 通常の作動条件における感電の危険 作動条件 絶縁要件 故障の要件 機械的な強度 電源に接続する部品 コンポーネント 端子装置 外部フレキシブルコード 電気接続と機械的な固定具 感電に対する保護 安定性と機械的な危険 耐火性

当該製品が89/336/EEC (EMC)指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

規準番号	制定年	試験形式
EN55013	2001	誘導排気
EN55013	2001	吸収排気
EN55020	2002	免責

## FCC通告

### 注記:

本機器は試験審査の結果、FCC規則第15部により、クラスBデジタル機器の限度内で作動することが認められました。この限度は、一般家庭用機器の設置における有害な干渉に対し、妥当な保護を提供するために定められたものです。本機器は、高周波エネルギーを発生、使用し、放射する可能性があり、指示に従って設置・使用されない場合、無線通信に干渉するかもしれません。しかし、特定の設置条件により干渉を起こさないという保証はありません。

本機器がラジオやテレビの受信を妨害するようであれば、本機器のスイッチを切ったり入れたりすることで、確認できます。次のような方法のひとつで、あるいはいくつかの方法の組合せで、干渉が改善されるかどうかお試しください。

- 受信アンテナの方向を変える。または位置を変える。
- 本機器とレシーバーの距離を離す。
- レシーバーが接続されている電源の回路とは別の電源に本機器を接続する。
- 販売店またはラジオ/テレビの専門技術者に相談する。

## 著作権と商標記載に関するお断り

Copyright © 2007 Linn Products Ltd. 2007年9月初版

Linn Products Limited, Glasgow Road, Waterfoot, Eaglesham, Glasgow, G76 OEQ, Scotland, United Kingdom

無断複写・複製・転載を禁じます。発行者の書面による許可なしには、本書のいかなる部分も、いかなる形式であれ、また電子的、機械的、複写、録音、録画その他いかなる手段によっても、無断で複製、使用可能な形での保存、転送をすることはできません。

本マニュアル記載の情報は、情報提供だけを目的としており、予告なく変更されることがあります。また、Linn Products Limitedが記載内容を保証するものではありません。Linn Products Limitedは、本マニュアルに誤りや不正確な記述があったとしても、それに対する責任を負うことはありません。

Linn Products Limitedでは、弊社以外の商標・商品名に対する所有権を主張することはありません。

本マニュアル記載の商標:LinnおよびLinnのロゴは、Linn Products Limitedの登録商標です。Majik、Aktiv、ChakraはLinn Products Limitedの商標です。

英国にて印刷。

PACK 1353/J

# 目次

<b>はじめに</b>	<b>1</b>	<b>セットアップメニュー</b>	<b>16</b>
<b>特長</b>	<b>2</b>	セットアップメニューに入り選択する	16
<b>設置</b>	<b>3</b>	Display configuration (表示設定)	17
開梱	3	Source configuration (ソース設定)	18
設置	3	Audio configuration (音声設定)	19
通気の必要性	3	Unit configuration (機器設定)	20
他の装置に対する設置位置	3	RS232 configuration (RS232設定)	21
重要な情報 – フォノ入力	4	Defaults (初期状態)	22
重要な情報 – 保護機能	4	Unit information (ユニット情報)	23
<b>接続</b>	<b>5</b>	<b>仕様</b>	<b>24</b>
背面パネル	5	<b>保証とサービス</b>	<b>26</b>
ラインレベルのソース製品を接続する	6		
ターンテーブルを接続する	6		
外部パワーアンプに接続する	7		
アナログ録音機器 (テーブデッキなど) に接続する	7		
スピーカー端子に接続する	7		
ヘッドフォンを接続する	8		
AUXソース (MP3プレーヤーなど) に接続する	8		
電源に接続する	8		
<b>操作</b>	<b>9</b>		
前面パネル	9		
リモコン	10		
リモコンモード	11		
スタンバイ	12		
基本コントロール	13		
ソースの選択	13		
音量コントロール	14		
その他のコントロール	14		
バランス調整 (リモコンはAmpモードにしてください)	15		
録音	15		



# はじめに

## Majik-Iプリメインアンプ

音楽は人に幸せをもたらし、最高の水準で再生された音楽は心に残る喜びとなる。Linnは30年以上前、このような信念のもとに創立されました。

最高の音質で音を再生したいという欲求は、今日でも弊社の原動力となっています。その姿勢は、Majik-Iプリメインアンプにも表れています。最新の技術を利用して進化を遂げた本製品によって、好きな音楽により一層近づくことができます。さらにフォノステージも装備され、耳の肥えたオーディオファンの方にもご満足いただけるはずです。

Majik-Iプリメインアンプは、LinnのMajik CDプレーヤーおよびMajik140スピーカーシステムと完璧なコンビネーションを構成するのはもちろん、トータルなMajikシステムの一部としても、お手持ちの機器に組み込んでも、聴き慣れた音楽コレクションに新たな発見をもたらすことでしょう。

# 特長

## Chakraアンプ技術

Chakraアンプの設計では、シングルチップ集積回路周囲の「ブースター」として、複数の大型トランジスタを採用しています。出力電流が数ミリアンペアを下回る場合、出力パワーはすべてシングルチップ回路から供給され、この回路方式の持つ速度とリニアリティを最大限に発揮します。大出力時には、出力電流のほとんどはトランジスタから供給され、集積回路は定格範囲内に置かれて、誤差を即座に補正するよう動作します。

この極めてコンパクトなデザインによって、回路面積の小型化、信号経路の短縮化、高効率化を実現し、従来の設計より発熱量の少ないアンプが誕生しました。

## スイッチモード電源 (SMPS)

スイッチモード電源(SMPS)とは電力供給システムの種類で、入力電力の変換と制御を行うだけでなく、内部のオーディオ回路に対して、外的要因による変動を取り除いた高品質な電力を供給する役割を担っています。SMPSは、ほとんどのアンプで見られる、大型・大重量でノイズの原因にもなっていたトランスや、その他の大型部品にとってかわるものとなります。

従来の電力供給システムに対するSMPSの利点としては、小型サイズ、高効率性、高速レスポンス、入力変動に対する許容度の向上、原材料の削減による環境への配慮などが挙げられます。

またSMPSでは、従来の大規模な電力供給システムでみられたような商用電源に歪みを還元させることがないため、従来の電源を使用したアンプをMajik-Iアンプにアップグレードした場合、アンプそのものの性能向上に加え、電源が安定することによるシステム全体の音質向上もほぼ確実に期待できます。

## Aktiv\* オペレーション

標準の「パッシブ」クロスオーバーは、音声信号そのものによって駆動されているため、実際には信号の一部が失われてしまいます。これに対してAktivクロスオーバーは、SMPS（上記を参照）で駆動されるため、ずっと多くの音声信号をラウドスピーカーまで届けることができます。またこの方式は、標準の方式より信号を制御する能力に優れ、他の特性との相乗効果で、大幅に音響性能を向上させることができます。

Linn製品の正規販売店では、特別に設計されたAktivモジュールを取り付けることによって、ご使用のMajik-IアンプをAktivアップグレードできます。

## 保護機能

### 過電流の防止機能

出力電流がパワーアンプに設定された安全動作レベルを超過した場合、本体および接続されたラウドスピーカーのドライブレギュレーション保護のため、パワーアンプは即座に数秒間シャットダウン状態となります。

### 過熱防止機能

同様に、アンプの温度が設定された安全動作レベルより高温になった場合、アンプは動作を停止し、温度が正常なレベルに回復すると自動的に動作を再開します。

\*「Aktiv」とは、Linn独自のアクティブモジュールとラウドスピーカーによる構成のことです。

# 設置

## 開梱

本機には、以下の付属品が同梱されています：

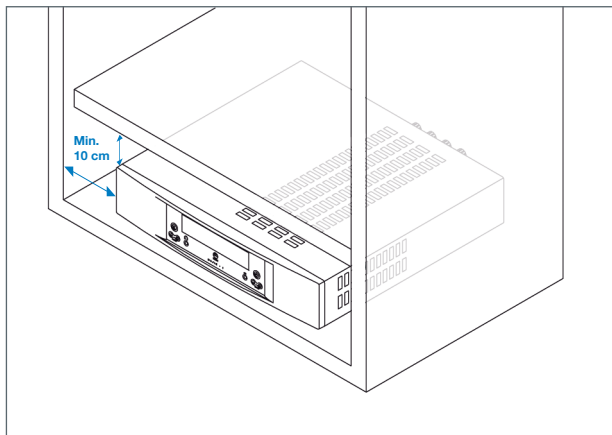
- 蓄光リモコン
- リモコン用単4乾電池 (2本)
- 電源コード
- 保証書バック
- 本マニュアル

将来の輸送などに備えて、梱包材や箱は保管しておいてください。

## 配置

### 通気の必要性

Majik-Iプリメインアンプは、非常に変換効率の高い設計ですが、それでもかなりの電力を熱として放散する必要があります。したがって、周辺の通気が妨げられない場所に設置してください。



### 推奨される設置方法：

- 放熱をよくするために、本機の上面および側面に10センチ (4インチ) 以上の隙間を空けてください。
- キャビネット内部に設置する場合は、装置の前方から後方に向かって空気が流れるようにしてください。密閉型のキャビネットでは、放熱が大きく制限されます。
- アンプ上下に物を置くことによって通気を妨げないようにしてください。

本機を通気の悪い場所に設置したり、大音量で一定時間再生したりすると、温度が安全動作レベルを超えて上昇する可能性があります。そのような場合、温度が十分に下がるまで、アンプはシャットダウンします。

### 他の装置に対する設置位置

Majik-Iプリメインアンプは、ラジエーターや他のパワーアンプなど、熱を発生する機器の真上や隣接した場所に設置しないことが理想的です。複数のアンプを使用し、設置スペースに限りがある場合、上下に積むよりは左右に並べる方がよいでしょう。

Majik-IIは、テレビ、コンピュータ、調理機器、冷蔵庫など電力消費量の大きい電気製品・電子機器から離れた位置に設置する (またできれば電源も別の回路から取る) ことをお勧めします。こういった機器による強い電波、電磁波の発生や干渉によって、アンプの性能に悪影響を及ぼす可能性があるのを防ぐためです。

## 重要な情報 – フォノ入力

本機をシステムに組み込む前に下記を注意深くお読みください。本機はお買い上げのLinn販売店による再設定を必要とする場合があります。

Majik-Iプリメインアンプには、フォノターンテーブルへの接続を可能にするフォノ入力があります。ターンテーブルをお持ちでない場合も、下記の点を考慮願います。

INPUT 6 / PHONOは、フォノステージ、または追加の「ラインレベル」入力として設定することができます。これらの用語の説明については、下記の注記を参照してください。工場出荷時には、INPUT 6 / PHONOはMMフォノステージとして機能するように設定されています。

INPUT 6 / PHONOをラインレベルモードでご使用になる場合、内部ハードウェアの再設定が必要のため、Linn販売店による作業が必要です。INPUT 6 / PHONOをmoving-coil (MC)モードでご使用になる場合、MC アップグレードキット (Linn販売店に取り扱っております)、および内部ハードウェアの再設定が必要になります。この場合、Linn販売店による作業が必要です。Linnの指定した作業員以外が製品を改造解体した場合は、保証が無効になる場合があります。

INPUT 6 / PHONOの現在の設定は、本機のセットアップメニューで確認いただけます (16ページの「セットアップメニュー」を参照してください)。

### 注記:

ラインレベル入力とは異なり、フォノステージにおいては極端に小さい信号レベルを増幅する必要があるため、細心の注意を払って扱わないと、ノイズや信号の劣化を受けやすくなります。そのためLinnでは、フォノステージを切替可能なまたはソフトウェアで設定可能な調整ではなく、配線接続された回路として設計しました。これは、オーディオ性能を最大限に高め、このような極めて精度の高い回路における信号の劣化を起こす可能性のあるスイッチなどの部品を排除するためです。

「Moving-magnet」と「moving-coil」は、使用可能なフォノカートリッジの2つのタイプです。お持ちのターンテーブルのカートリッジタイプがご不明の場合は、パッケージまたはメーカー公表の情報を参照になるか、お買い上げの販売店にお問い合わせください。「ラインレベル」入力は、CDプレーヤー、ラジオチューナー、DVDプレーヤー、ビデオレコーダー等のラインレベル (固定音量) 製品の接続用です。

## 重要な情報 – 保護機能

### 操作

過熱や過負荷状態になった場合、本体や接続されたスピーカーシステムのドライブユニットを保護するため、パワーアンプ部分はシャットダウンします。

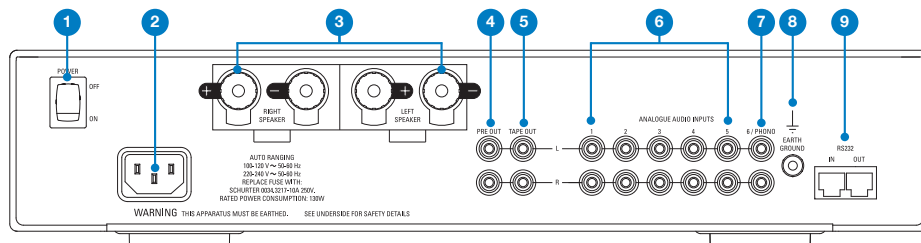
### 継続時間

保護機能を動作させる原因となった状態が終了すると、アンプは自動的に通常の動作に復帰します。パワーアンプの保護状態が続く時間は、原因によって異なります。保護状態が数秒以上続く場合、原因としてオーバーヒートが考えられますが、その場合は温度が下がって復帰するまで数分かかることもあります。

保護状態が長時間続く場合 (10分以上)、継続的な過負荷状態が考えられます (アンプに接続されたコンポーネントの一つが故障している場合など)。そのような場合は、いったん本機の主電源をオフにして、約30分後に再始動してみてください。それでも問題が解決されない場合は、購入された販売店へお問合せください。製品検査を行い、問題の原因を特定いたします。

# 接続

## 背面パネル



### 1. POWER:OFF, ON

本機の電源のオンオフを切り替えます

### 2. Mains input (電源入力)

主電源接続用。8ページの「電源に接続する」を参照してください

### 3. RIGHT, LEFT SPEAKER

スピーカーシステムへの増幅信号を出力します

### 4. PRE OUT

外部パワーアンプへの接続用ラインレベル出力

### 5. TAPE OUT

テープレコーダーなどのアナログ録音装置との接続用固定音量出力です

### 6. ANALOGUE AUDIO INPUTS 1 - 5

CDプレーヤー、ラジオチューナー、テープデッキなど、ラインレベルソース製品への接続用

### 7. ANALOGUE AUDIO INPUT 6 / PHONO

INPUT 6は、moving-magnet、moving-coil、ラインレベル入力に設定できます(工場出荷時の設定はmoving-magnetになっています)。詳しくは、4ページの「重要な情報 - フォノ入力」を参照してください

### 8. EARTH GROUND

必要に応じて、ターンテーブルのトーンアームケーブルからアースを取るために使用します。また、主電源にアースが取れない場合、本機をアース端子に接続します

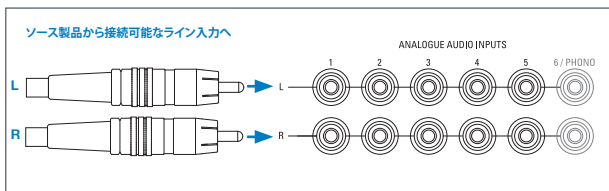
### 9. RS232 IN and OUT

RS232接続用。RS232コントロール製品をIN端子に接続して、本機を制御するのに使用できます。OUT端子はRS232によるコントロールが可能な他の製品に、RS232コマンドを中継する場合に使用できます

#### 重要:

接続を行う前に、システム内の全製品の主電源を切断してください。

## ラインレベルのソース製品を接続する

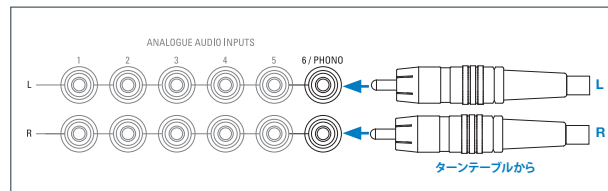


### 備考

INPUT 6 / PHONOは、ラインレベルのソース製品に接続するには、再設定が必要です（調整はLinn販売店が行う必要があります）。詳しくは、4ページの「重要な情報 - フォノ入力」を参照してください。

前面パネルに表示される入力名は、ご希望に合わせて変更することができます。詳しくは、16ページの「セットアップメニュー」を参照してください。

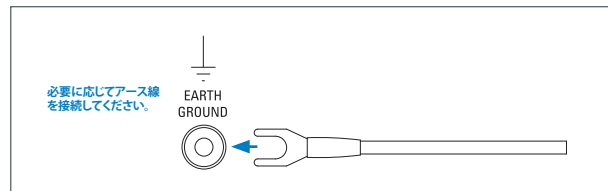
## ターンテーブルを接続する



### 重要事項

INPUT 6 / PHONOは、MCカートリッジ付属のターンテーブルに接続するには、再設定が必要です（調整はLinn販売店が行う必要があります）。詳しくは、4ページの「重要な情報 - フォノ入力」を参照してください。

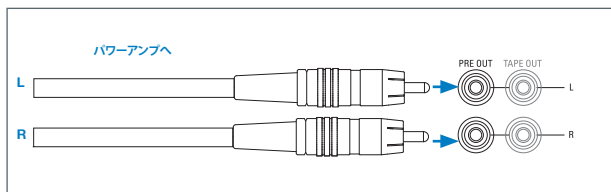
トーンアームケーブルからアース線が引かれている場合、EARTH GROUND端子に接続すると通常は最良の結果が得られます。



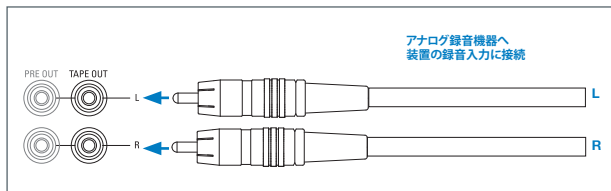
ただし、この接続によってノイズ（ハム音など）が生じたり、音質が低下したりする場合は、接続を外してください。トーンアーム、カートリッジによっては、アース接続をしない方が優れた機能を発揮することがあります。

前面パネルに表示される入力名は、ご希望に合わせて変更することができます。詳しくは、16ページの「セットアップメニュー」を参照してください。

## 外部パワーアンプに接続する

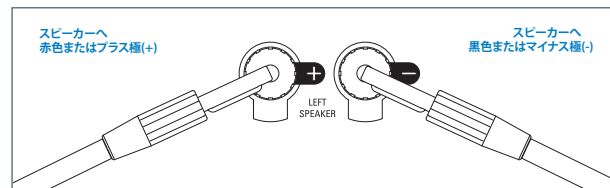


## アナログ録音機器 (テープデッキなど) に接続する



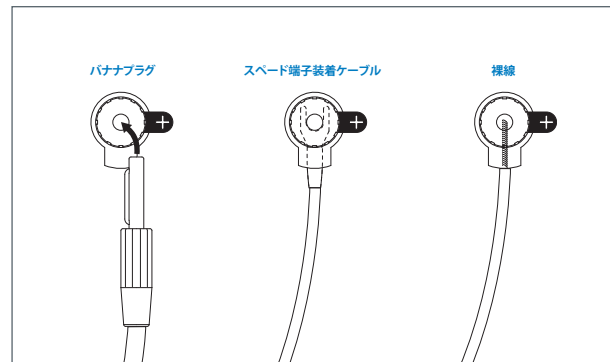
## スピーカー出力端子に接続する

個々のチャンネルを、下記のように接続してください。

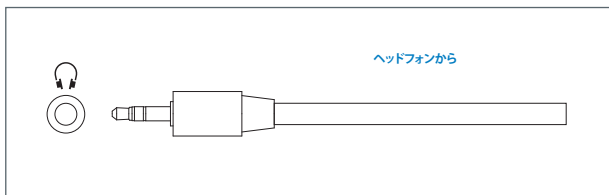


バイディングポスト端子は、4mmバナナプラグの接続用ソケットとして使用したり、裸線やスベード端子を装着したケーブルの接続に使用することもできます。こうした場合、バイディングポストのアウトセクションを緩めて、ケーブルまたは端子を挿入してから、バイディングポストを締め付けて固定します。

バイディングポストはすべて、緩みのないように取り付けてください。



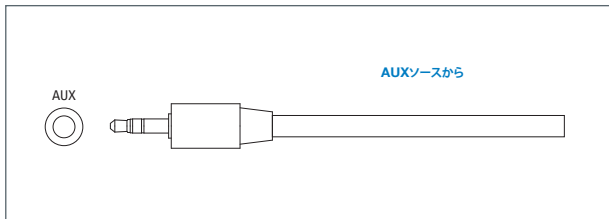
## ヘッドフォンを接続する



### 注記:

ヘッドフォンを接続しているときは、ラウドスピーカーへの音声出力はミュート(消音)されます。

## AUXソース(MP3プレーヤーなど)に接続する



### 注記:

ジャックを接続すると、AUXソースが現在のソースとして自動的に選択されます。

音声の歪みを防止し、最良の性能を引き出すためには、AUXソースの音量を調節する必要があります。

## 電源に接続する

**重要** — 他のすべての接続が完了するまで、主電源には接続しないでください。システムの全製品は、接続/切断を行う際には電源コードを外してください。

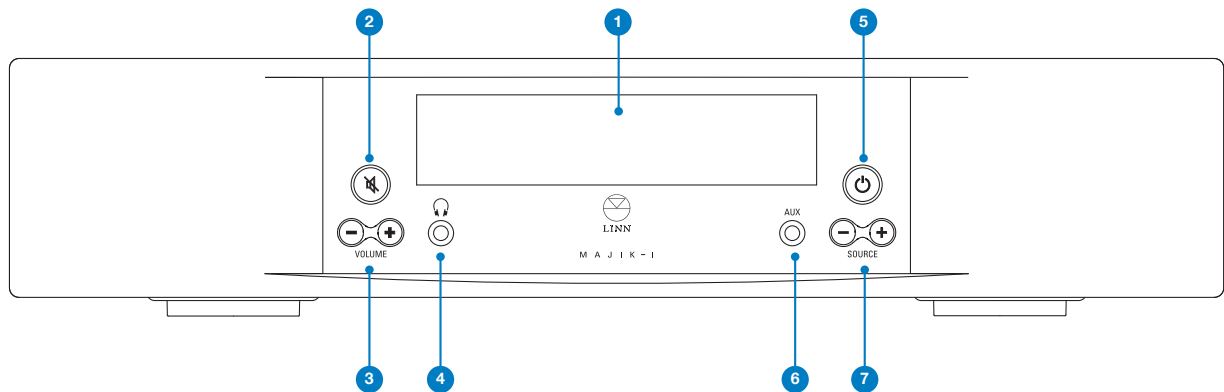
**本機を主電源に接続する**ときは、必ずアースしてください。アース端子の付いた付属の成形電源コードを使用してください。アース端子の付いていない電源プラグ、ソケット、アダプターは絶対に使用しないでください。各国の規定に応じて、電源コードにヒューズ入りプラグが付属している場合もあります。その場合、ヒューズ交換の際には必ず同タイプ・同定格のものを使用してください。

本機は、世界中のすべての地域の電源に接続して使用でき、電圧を変換する必要はありません。自動電圧選択(AVS)機能を備えており、電源は商用電源に応じて自動的に調整されます。


本機では従来の設計に採用され、大型・大重量でノイズの原因にもなっていた効率の悪いトランス(および関連する回路)の代わりに、スイッチモード電源(SMPS)が使用されています。弊社設計のスイッチモード電源は、品質の低い商用電源に対しても優れた許容度を備え、条件がある程度悪い場合でも最善の状態に極めて近い動作を実現します。

# 操作


## 前面パネル




1. 前面パネルのディスプレイ

2.  音量のミュート (消音) とその解除

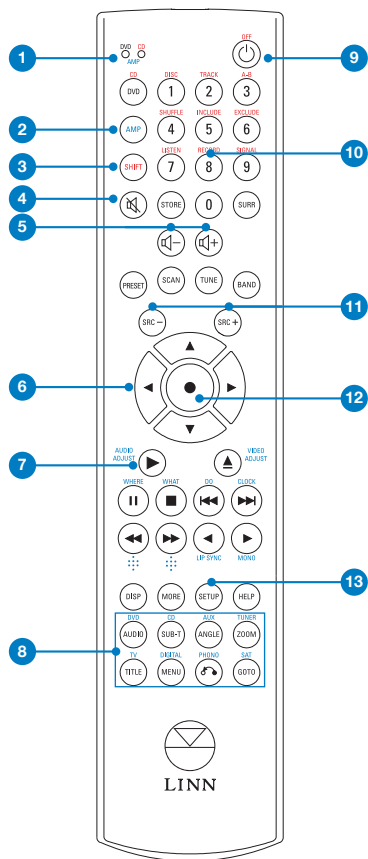
3. **VOLUME - / VOLUME +**  
音量を調節します

4.  (ヘッドフォン端子)  
3.5 mmのヘッドフォンジャックを接続できます





5.  (standby)  
本機のスタンバイモードの切り替え

6. **AUX (補助入力端子)**  
MP3プレーヤーなど、ポータブル型のAUXソース接続用。3.5 mmのジャックを接続できます

7. **SOURCE - / SOURCE +**  
ソースの変更



## リモコン

- LEDs**  
 リモコンから信号が送信されているときに点灯します。LEDのパターンによって、リモコンの現在の操作モードが表示されます。下記「リモコンモード」を参照
- AMP (amplifier)**  
 リモコンモードをプリアンプコントロール用 (機能はリモコンに青字で印字) に変更します。下記「リモコンモード」を参照
- SHIFT**  
 RECORD、OFFの各機能を使用可能にします。下記「リモコンモード」を参照
-   
 音声をミュート (消音) / ミュート解除します
-   
 音量を調節します
-   
 セットアップメニューの項目を選択し、各種機能を調整します
- AUDIO ADJUST**  
 調整可能なオーディオ機能を使用可能にします
- 直接ソースキー**  
 ソースを直接選択するキーです
-  / OFF  
 本機のスタンバイモード切替 / 個別の「OFF」コマンドを送信します - 特定のコントロール用に必要です
- RECORD**  
 録音経路を設定 / 変更します

## 11. SRC- / SRC+ (source - / source +)

ソースを変更します

## 12. ●

オプションおよび特定のコマンドを選択／実行します

## 13. SETUP

セットアップメニューを開始／終了します

## リモコンモード

便利にお使いいただけるよう、リモコンは弊社の各種製品の操作ができるように設計されています。これは、弊社システムの操作に必要なリモコンの数を最小限に抑えるためです。リモコンは以下に示すように、さまざまなモードでの操作が可能です：

### Ampモード

**AMP**キーを押します。プリアンプ機能(キーの上または下に青字で印字)がリモコン上の主要なキーに割り当てられ、AMPキーのいずれかを押すたびに両方のLEDが点灯します。

### DVDモード

**DVD**キーを押します。DVD機能がリモコン上の主要なキーに割り当てられ、それらのキーのいずれかを押すたびに「DVD」のLEDが点灯します。

### CDモード

**SHIFT**と**DVD**を押します。CD機能がリモコン上の主要なキーに割り当てられ、それらのキーのいずれかを押すたびに「CD」のLEDが点灯します。


### SHIFT機能

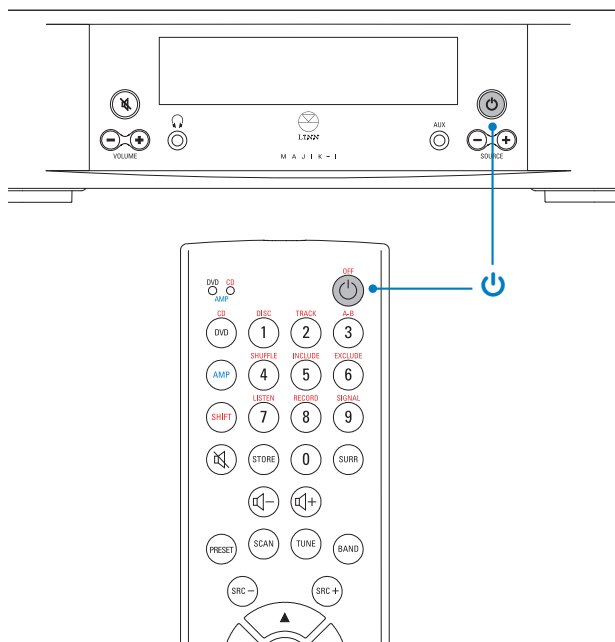
**SHIFT**を押して(2秒以内に)上部分に赤字で印字されたキーのいずれかを押すと、赤字で印字された機能を使用することが可能になります。注記 - 上記の「モード」機能とは異なり、この機能はリモコンには再度割り当てられないため、シフト機能を使用するたびに**SHIFT**キーを押す必要があります。

### 注記:


リモコンのモードとコントロールされる製品によって、操作可能なキーが異なります。キーによっては特定の製品でしか操作できず、ほかの製品では機能しないものもあります。

## スタンバイ

本機は主電源に接続されると、約8秒間で自動設定を行います。この間、ディスプレイには3つの点が表示され、フロントパネル、リモコンの操作は受け付けません。自動設定が終了するとスタンバイ状態となり、ディスプレイには  と表示されます。



### スタンバイモードと操作モードを切り替える:

- リモコンまたは前面パネルの  を押します。

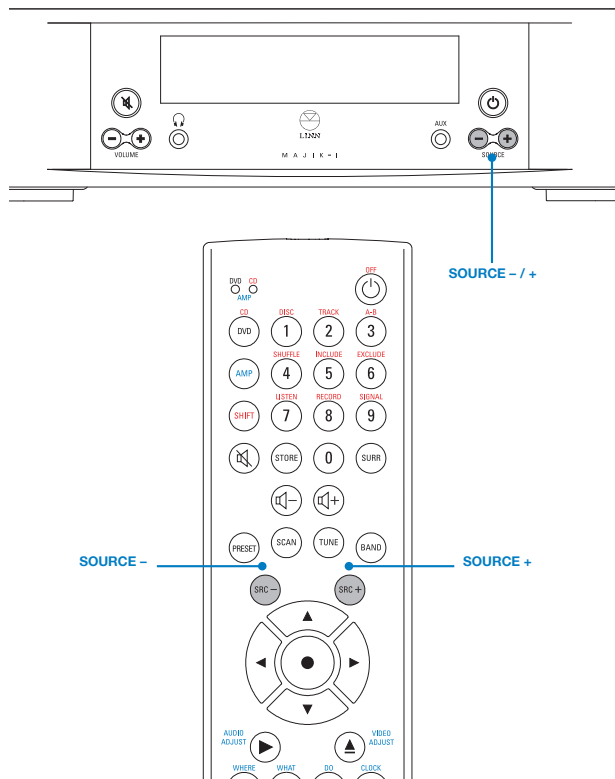
### 注記:

前面パネルのどのキーでも、スタンバイモードを解除できます。

スタンバイモードは本機の消費電力を抑えるため、本機を短時間使用しない場合や、リモート操作でスイッチを入れる必要がある場合に適しています。長時間使用しない場合は、背面の電源スイッチを切るか電源プラグを抜いて、主電源をオフにすることをお勧めします。

## 基本コントロール

### ソースの選択



#### ソースを選択する:

- リモコンまたは前面パネルのSOURCE- / SOURCE+ を繰り返し押すか、押し続けて、利用可能なソースを選択します。リモコンをAmpモードにする必要はありません。

あるいは

- セットアップメニューに音声ソースの入力タイプが設定されている場合、リモコンのソース選択キーを使用して、ソースを直接選択することができます。詳しくは、16ページの「セットアップメニュー」を参照してください。リモコンはAmpモードにしてください。

あるいは

- 前面パネルのAUX端子に3.5 mm ジャックを差し込むと、自動的にその入力を選択されます。3.5 mm ジャックを抜くと、自動的に入力の選択が解除され、本機はその前に選択されたソースを選択します。

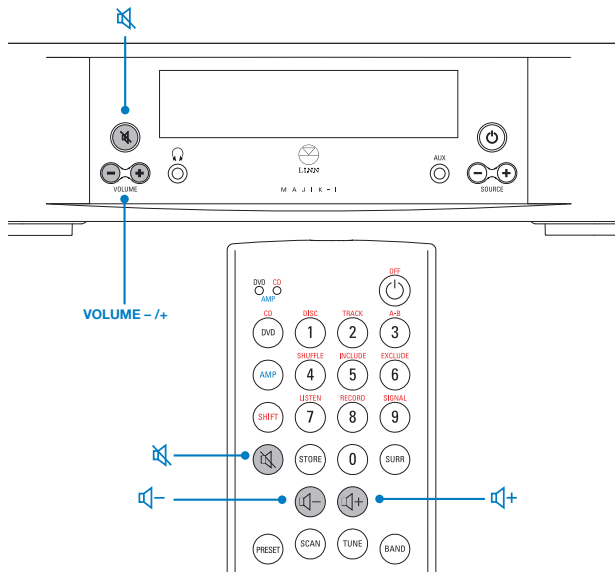
#### 注記:

前面パネルに表示される入力名、入力タイプは、ご都合に合わせて変更することができます(16ページの「セットアップメニュー」を参照してください)。

入力タイプを「None」に設定すると(16ページの「セットアップメニュー」を参照してください)、その入力は選択できなくなります。

ジャックをAUX端子に差し込んでいない場合、この入力は選択できません。

## 音量コントロール



### 音量設定を調節する:

- リモコンの  $\text{VOL-}$  /  $\text{VOL+}$ 、または前面パネルの **VOLUME - / VOLUME +** を繰り返し押すか、押し続けます。

音量は0.5刻みで0~100の範囲で選択できます。

### 音量のミュート／ミュート解除を行う:

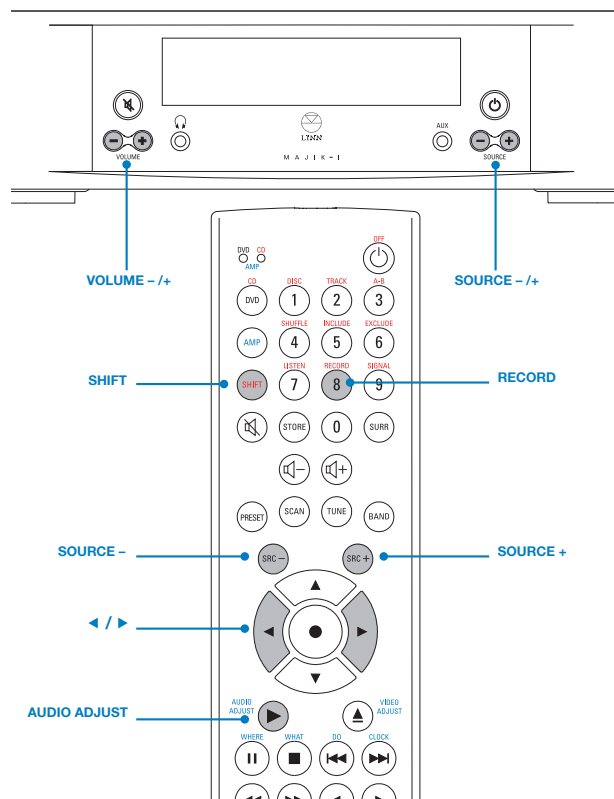
- リモコンまたは前面パネルの  $\text{MUTE}$  を押します。

### 注記:

リモコンの音量キーとミュートキーは、リモコンモードの影響を受けません。

MAJIK-I

## その他のコントロール



AUDIO ADJUST

## バランス調整 (リモコンはAmpモードにしてください)

### バランス設定を調整する:

- リモコンの**AUDIO ADJUST**を押します。

現在のバランス設定が表示されます。

- リモコンの◀/▶ キー、または前面パネルの**VOLUME - / +**を使用して、バランスを左右にそれぞれ調整します。

バランス範囲は、左へ10段階、右へ10段階です。0がニュートラルとなります。

## 録音

### ソースを録音する:

- リモコンの**RECORD**を押します (**SHIFT+8**)。
- リモコンまたは前面パネルの **SOURCE -/+**を使用して、録音したいソースを選択します。

選択されたソースが固定音量でTAPE OUTから出力され、アナログ録音機器によって録音されます。

### 注記:

本機が別の再生経路と録音経路を持っている場合、録音しながら別のソースを聞くことができます。

録音経路を「**No source**」に設定すると、録音経路は設定されません。

「**None**」に設定されたソースは表示されません。

# セットアップメニュー

セットアップメニューを使用すると、希望に合わせて操作機能をのカスタマイズし、特殊な設置状態での操作、重要な機能データの確認ができるように本機を設定できます。




## セットアップメニューに入り選択する

### リモコン使用:


- **AMP** キーを押してリモコンをAmp モードにします。
- **SETUP**を押します。
- メニュー内のオプションを上下するには、▲/▼を使用します。
- オプションを選択するには、▶または●を押します。
- 前のオプションまたはメニューに戻るには、◀を押します。
- **SETUP** を押すと、セットアップを終了します。

あるいは

### 前面パネル使用:

- MAIN MENUが表示されるまで  を押し続けます。
- メニュー内のオプションを上下するには、**SOURCE +** または **SOURCE -**を使用します。
- オプションを選択するには、**VOLUME +**または を押します。
- 前のオプションまたはメニューに戻るには、**VOLUME -**を押します。
-  を押すと、セットアップを終了します。

### 注記:

現在選択されているオプションは、横に (チェックマーク) がついた状態で表示されます。

メインメニューには次の4つのサブメニューがあります。

- Display configuration (表示設定)
- Source configuration (ソース設定)
- Audio configuration (音声設定)
- Unit configuration (機器設定)

## Display configuration (表示設定)

オプション	設定	内容	デフォルト設定
Display Brightness (ディスプレイの輝度)	Auto (自動)  (パーセンテージ) (2 - 100%)	「Auto」に設定した場合、ディスプレイの輝度は周囲の明るさに応じて変化します(周囲が暗いと画面は暗く、周囲が明るい画面は明るくなります)。 「Auto」に設定するには、パーセンテージ設定を上下にスクロールしてください、0%が表示される場所に「Auto」オプションが表示されます。 「Percentage」では、設定値を2%~100%の間で選択できます。ディスプレイの輝度は(スタンバイモード解除中)、指定した輝度の設定値を維持します。	100%
Display Content (表示内容)	Source and Volume (ソースと音量) Volume (音量) Source (ソース) Last Used (前回使用のもの)	「Source and Volume」に設定すると、現在選択されているソースと現在の音量設定の両方が前面パネルに表示されます。 「Volume」に設定すると、現在の音量設定のみが表示されます。 「Source」に設定すると、現在のソース設定のみが表示されます。 「Last Used」に設定すると、調整する前の設定(ソースまたは音量)が表示された状態になります。  <b>注記:</b> 上記の設定が適用されるのは、本機がスタンバイ解除されていて、ディスプレイがスリープモードに入っておらず、調整中ではない場合のみです。	Source and Volume (ソースと音量)
Display Timeout (ディスプレイタイムアウト)	1 - 10 seconds (1~10秒間)	調整が行われた後、ディスプレイが上記説明の「Display Content」設定に戻るまでにかかる時間を設定します。	2 seconds (2秒間)
Sleep Display Delay (スリープディスプレイ遅延)	Delay in minutes and seconds (秒・分単位での遅延時間) (0 seconds to 5 minutes) (0秒~5分) Off (オフ)	この時間設定では最後のコマンドを受信してから、ディスプレイがスリープモード(ディスプレイ上に3つの点のみが表示される状態)になるまでの時間を決定します。 「Off」に設定した場合、ディスプレイはスリープモードに入りません。	Off (オフ)

## Source configuration (ソース設定)

各ソースについて、以下に記載したオプションが使用できます。調整したいソースを選択して、必要に応じて修正してください。

オプション	設定	内容	デフォルト設定	
Name (名称)	該当なし	<p>ディスプレイに表示される入力名を変更できます。名称はスペースを含め最大12文字まで入力できます。</p> <p>選択した入力名を変更するには:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リモコンの▼/▲キーまたは前面パネルの<b>SOURCE - / +</b>キーを使用して、点滅している文字を変更します</li> <li>リモコンの▶キーまたは前面パネルの<b>VOLUME +</b>キーを使用して、次の文字に移動します。</li> <li>前の文字に戻りたい場合は、リモコンの◀キーまたは前面パネルの<b>VOLUME -</b>キーを使用します。</li> <li>変更が完了したら、リモコンの●または前面パネルの○を押して変更を実行します。</li> </ul> <p>設定を終了してメニューに戻るには、リモコンの◀キーまたは前面パネルの<b>VOLUME -</b>キーを繰り返し押します。</p>	端子 Aux Input 1 Input 2 Input 3 Input 4 Input 5 Input 6	名称 Aux Majik CD Input 2 Input 3 Input 4 Input 5 Phono
Type (タイプ)	Aux (補助) None Satellite Cable TV DAT Tape 2/CR Tape 1 Phono/Aux 2 Tuner DVD CD	<p>選択したソースタイプは、スクロールして選択できる入力として、リモコンから直接選択できます (10ページの「リモコン」を参照してください)。</p> <p><b>注記:</b> ソースタイプに「None」を割り当てると、その入力は選択できなくなります。したがって、接続されていないソース入力をバイパスするのに便利です。</p> <p>リスト表示されたソースタイプの中には、付属のリモコンで直接選択できないものもあります。Linnの旧型リモコンでのみ選択できるものもあります。</p> <p>同じソースタイプとして複数の入力が設定されている場合、リモコンで関連するキーを繰り返し押すと、該当する項目のすべてをスクロールさせてアクセスすることができます。</p>	端子 Aux Input 1 Input 2 Input 3 Input 4 Input 5 Input 6	名称 Aux CD Aux Aux Aux Aux Phono
Volume Offset (音量微調整)	-15 ~+15	<p>各ソース入力の音量レベルを相対的に増減できます。</p> <p>すべてのソースの音量を一定にすることができます。例えば、CDプレーヤーとラジオチューナーを接続した場合、CDプレーヤーの出力音量がチューナーの出力音量より大きいことがあります。この機能を使用すれば、ソースを切り替えるごとに音量を調整する必要がなくなります。</p> <p><b>注記:</b> 音量の違いは音量表示には表示されません。したがって、微調整するソースを切り替える際には、表示された音量は微調整を反映しません。</p>	0	

## Audio configuration (音声設定)

オプション	設定	内容	デフォルト設定
Volume Rate (音量レート)	1/10～10/10	<b>VOLUME - / +</b> キーを押し続けたときに変化する音量のレートが調整できます。 1/10 = 最もゆるやか、10/10 = 最も急激。	8/10
Mute Rate (ミュートレート)	1/10～10/10	<b>MUTE</b> キーを押したときに増減する音量のレートが調整できます。 1/10 = 最もゆるやか、10/10 = 最も急激。	8/10
Volume Limit (音量制限)	0～100	本機の最大音量を制限することができます。 例えば、音量制限を60に設定した場合、音量を60以上に上げることはできません。	100
Volume Preset (音量プリセット)	0～100	本機のスタンバイが解除されたときの音量レベル調整ができます。	40
Headphone Offset (ヘッドフォンオフセット)	-15～+15	スピーカー出力の音量に対して、ヘッドフォン出力の音量を調整できます。  このオプションによって、ヘッドフォンのタイプごとに異なる出力を補正することができます。したがって、オフセットを調整した後にヘッドフォンを接続または取り外す場合、音声を改めて調整する必要がありません。	0

## Unit configuration (機器設定)

オプション	設定	内容	デフォルト設定
Selection Timeout (選択タイムアウト)	1~10秒間	ソースの選択が実行されるまでの時間を調整できます。遅延時間の間、スクロールして選択可能なソースを見ることができます	1秒間
Startup Source (スタートアップソース)	None Last Used AUX PHONO Input 5 Input 4 Input 3 Input 2 Majik CD	本機がスタンバイ解除されたときに、どのソース入力を選択されるかを設定できます。  <b>注記:</b> これらの名称はソース設定のオプションで設定できます。	Last used (前回使用のもの)
Standby Record From (スタンバイレコード)	None Last Used AUX PHONO Input 5 Input 4 Input 3 Input 2 Majik CD	本機がスタンバイモードの間、ソースがTAPE OUTで出力されるよう設定できます。	Last used (前回使用のもの)
Handset Commands (リモコンからのコマンド)	Enabled Disabled	「Enabled」に設定した場合、リモコンからのコマンドを受信します。 「Disabled」に設定した場合、リモコンからのコマンドを受信しません。(この場合、セットアップメニューにアクセスし、調整ができるのは前面パネルだけになります。)	Enabled
RS232 Configuration (RS232設定)	該当なし	RS232セットアップサブメニューにアクセスし、本機を他のRS232を使用可能な製品と通信するように設定できます。	該当なし
Defaults (初期状態)	該当なし	初期状態サブメニューにアクセスし、設定を保存したり呼び出したりできます。	該当なし
Unit Information (ユニット情報)	該当なし	調整不可 - 参照用のみ。本機のソフトウェア/ハードウェアの変更について確認できます。このカテゴリーは主に弊社スタッフおよび弊社指定サービス代理店による使用を想定しています。	該当なし

## RS232 configuration (RS232設定)

オプション	設定	内容	デフォルト設定
Baud Rate (ボーレート)	230400 115200 57600 38400 28800 19200 14400 9600 4800	使用しているRS232プロトコルに合うボーレートを設定します。	9600
Parity (パリティ)	Even None Odd	使用しているRS232プロトコルに合うパリティを設定します。	Even
Data Bits (データビット)	7 8	使用しているRS232プロトコルに合うデータビットを設定します。	7
Stop Bits (ストップビット)	1 2	使用しているRS232プロトコルに合うストップビットを設定します。	1
RS232 Events (RS232情報通信)	Enabled Disabled	「Enabled」に設定すると、本機の内部ステータス情報をRS232データ対応の外部機器に送信します。	Disabled

## Defaults (初期状態)

オプション	設定	内容	デフォルト設定
Save Installation (インストール設定の保存)	Save	本機の設定後、この項目を選択すると設定を保存できます。本機の設定を変更するときにはいつでも、保存されたインストール設定をもとに戻すことができます(以下を参照してください)。  本機のセットアップに対する変更内容を新しいインストール設定として保存したい場合、この項目を選択すれば、すべての変更内容が保存され、既存のインストール設定を上書きします。	該当なし
Restore Installation (インストール設定の修復)	Save	セットアップに対する変更内容を保存したくない場合に、この項目を使用して、インストール設定を元に戻すことができます。	該当なし
Restore Factory Defaults (工場出荷時設定の修復)	Reset	全メニュー内の全オプションを工場出荷時の設定に戻します。	該当なし

## Unit information (ユニット情報)

オプション	設定	内容	デフォルト設定
H8 S/W	該当なし	本機のソフトウェアのバージョン変更を確認できます。	該当なし
Main Board ID (メインボードID)	該当なし	本機のメインボードハードウェアの変更を確認できます。	該当なし
Front Panel Board ID (前面パネルボードID)	該当なし	本機の前面パネルハードウェアの変更を確認できます。	該当なし
Phono Board ID (フォノボードID)	該当なし	本機のフォノステージのハードウェアの変更を確認できます。	該当なし
Input 6 type (入力6のタイプ)	Line Level (ラインレベル) Phono MM Phono MC	調整不可 - 参照用のみ。再設定が必要な場合、Linn販売店がハードウェアの調整を行います。	Phono MM

# 仕様

端子タイプ	
ヘッドフォン	3.5 mmジャック
AUX INPUT (Aux入力)	"
LINE OUTPUTS (ライン出力)	RCA Phono RCA Phono (RCAフォノ)
TAPE OUTPUTS (テープ出力)	"
LINE INPUTS (ライン入力)	"
SPEAKER OUTPUTS (スピーカー出力)	4 mmバナナプラグ/バインディングポスト端子
入力インピーダンス	
MM PHONO INPUT (MMフォノ入力)	48 kΩ 68 pF
LINE INPUTS (ライン入力)	10 kΩ
AUX INPUT (Aux入力)	100 kΩ
入力電圧	
MM PHONO INPUT (MMフォノ入力)	70 mV ピーク @ 1 cm/sec 1kHz
LINE INPUTS (ライン入力)	8.5 V ピーク、6 V rms
AUX INPUT (Aux入力)	4.5 V ピーク、3.1 V rms
フォノステージゲイン	
MM PHONO INPUT (MMフォノ入力)	+40 dB (x 100) @ 1 kHz
出力インピーダンス	
LINE OUT (ライン出力)	300 Ω
TAPE OUT (テープ出力)	300 Ω
ヘッドフォン	11 Ω
出力電圧	
LINE OUTPUTS (ライン出力)	8.8 V ピーク、6 V rms
TAPE OUTPUTS (テープ出力)	8.8 V ピーク、6 V rms
ヘッドフォン	8.8 V ピーク、6 V rms

出力オフセット	
LINE OUTPUTS (ライン出力)	< 2 mV
TAPE OUTPUTS (テープ出力)	< 2 mV
ヘッドフォン	< 2 mV
SPEAKER OUTPUTS (スピーカー出力)	< 3 mV
S/N比	
LINE INPUTS (ライン入力)	-120 dB以上
MM PHONO INPUT (MMフォノ入力)	-90 dB以上
チャンネルバランス	+/-0.2 dB以内
チャンネルセパレーション	
LINE INPUTS (ライン入力)	-106 dB以上
MM PHONO INPUT (MMフォノ入力)	-90 dB以上
ゲインレンジ	-80 dB - +20 dB
ゲイン解像度	0.5 dB
ユニティゲイン音量	0 dB = volume 80
ダイナミックレンジ	120 dB
ダンピングファクター	170以上
信号クリッピングレベル	755 mV rms
ハーモニックディストーション	< 0.01%
負荷耐性	すべてのスピーカーに対して負荷安定対応
周波数特性	
プリアンプ	2.5 Hz - 170 kHz (-3 dB)
パワーアンプ	2.5 Hz - 48 kHz (-3 dB)
スピーカー出力電圧	28.8 Vピーク

消費電力	
スタンバイ	20 W
操作時	30 W
連続最大出力	300 W
電源電圧 (自動測定)	100 – 120 V ac (±10%) 50 – 60 Hz 200 – 240 V ac (±10%) 50 – 60 Hz
ヒューズの交換	250 V, T10 A
外形寸法	381 mm (W) x 80 mm (H) x 355 mm (D) 15 1/16" (W) x 3 1/8" (H) x 14" (D)
梱包寸法	520 mm (W) x 220 mm (H) x 490 mm (D) 20 1/4" (W) x 8 3/4" (H) x 19 1/4" (D)
重量	4.90 kg
梱包重量	6.50 kg
コントロール	前面パネルに6つのコントロールキー リモートコントロール可能 (付属のリモコン)

## 保証とサービス

This product is guaranteed under the conditions which apply in the country of purchase and your statutory rights are not limited. In addition to any statutory rights you may have, Linn undertake to replace any parts which have failed due to faulty manufacture. To help us, please ask your Linn retailer about the Linn warranty scheme in operation in your country.

In parts of Europe, the United States of America and some other markets, extended warranty may be available to customers who register their purchase with Linn. A warranty registration card is included with the product and should be returned to Linn as soon as possible. Alternatively, you can register your warranty online at [www.linn.co.uk](http://www.linn.co.uk).

### WARNING

Unauthorised servicing or dismantling of the product invalidates the manufacturer's warranty. There are no user serviceable parts inside the product and all enquiries relating to product servicing should be referred to authorised retailers only.

### Technical support and information

For technical support, product queries and information, please contact either your local retailer or one of the Linn offices opposite.

Full details of your local retailer/distributor can be found on the Linn web site: [www.linn.co.uk](http://www.linn.co.uk).

### Important

Please keep a copy of the sales receipt to verify the purchase date of the product.

Please ensure that your equipment is insured by you during any transit or shipment for repair.

### Linn Products Limited

Glasgow Road, Waterfoot, Eaglesham, Glasgow G76 0EQ, Scotland, UK

**Phone:** +44 (0)141 307 7777

**Fax:** +44 (0)141 644 4262

**Helpline:** 0500 888909

**Email:** [helpline@linn.co.uk](mailto:helpline@linn.co.uk)

**[www.linn.co.uk](http://www.linn.co.uk)**

### Linn Incorporated

8787 Perimeter Park Boulevard, Jacksonville, FL 32216 USA

**Phone:** +1 (904) 645 5242

**Fax:** +1 (904) 645 7275

**Helpline:** 888-671-LINN

**Email:** [helpline@linninc.com](mailto:helpline@linninc.com)

**[www.linninc.com](http://www.linninc.com)**

### Linn Deutschland GmbH

Hühnerposten 1d, D-20097 Hamburg, Deutschland

**Phone:** +49-(0) 40-890 660-0

**Fax:** +49-(0) 40-890 660-29

**Email:** [info@linngmbh.de](mailto:info@linngmbh.de)

**[www.linn.co.uk](http://www.linn.co.uk)**



PACK 1353